

カサゴの新しい棲み場

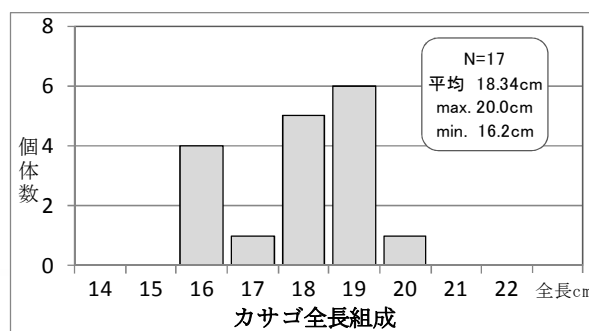
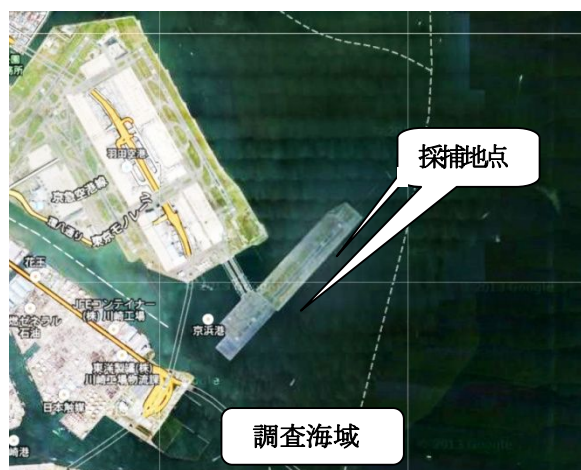
当協会では、カサゴ稚魚の放流を平成7年度から実施しており本年度も9月17日に2万尾(全長5.0~6.9cm)の稚魚放流を行いました(HP平成25年10月8日)。

従来、放流は、岩礁のある岩場に近似した海岸付近でしたが、羽田空港のD滑走路完成後の23年度からは、その滑走路先端部に設置されたスリット護岸付近に放流しています。

平成26年1月にD滑走路付近の海域で中層の刺網で調査したところ、カサゴを17尾採捕しました。大きさは全長で16.2~20.0cm 平均で18.34cm、年齢では2~3歳魚と推定されました。

カサゴ以外ではコノシロ(36)、メバル(29)、ウミタナゴ(18)、スズキ(17)、イシモチ(7)、メジナ(5)、ドチザメ(5)、シマイサキ(2)、アイナメ(1)、ニベ(1)等が採捕されました。

D滑走路周辺海域に海藻類はありませんが、今後、繁茂すれば、多くの生物のすみ場となりますので、その繁茂が期待されます。



カサゴ (*Sebastiscus marmoratus*)